

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	令和7年度 第1回益田市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和8年2月13日（金）午前10時00分～11時10分
開催場所	市民学習センター研修室202
出席者	審議会委員 出席10名 欠席2名 事務局4名
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	無
次 第	1. 議題1 益田市一般廃棄物処理基本計画について 2. その他 報告1 益田市一般廃棄物処理基本計画の改定について 報告2 益田市一般廃棄物最終処分場について
議題1	益田市一般廃棄物処理基本計画について 令和7年度益田市一般廃棄物処理実施計画について説明後、益田市一般廃棄物処理基本計画の施策実施状況について報告
委員	○質疑応答 ・ごみの分別について、リサイクルプラザでの最終的な分別作業の中で、困りごとなど現場の声はどのような感じか。プラごみをレジ袋の中に入れてそれを指定ごみ袋に入れると、袋の中の袋も破って中身を確認しなければならないので困ると聞いたことがある。
市	・容器包装プラスチックについて、最終的に袋を破り手作業で分別をしている。その中に、ハサミやハリ付き注射器など混入していることがあり、危険な場合もある。また、生ごみが混入していることがあり、腐敗等ひどい場合はリサイクル困難となる。 レジ袋等に入れて排出されると、そのレジ袋も開けて中を確認する必要があるため、手間が増え、分別効率が下がる。引き続き排出方法について周知したい。
委員	・ごみカレンダーに追加して呼びかけることは出来ないか。
市	・ごみカレンダーはすぐに変更等反映することは出来ないが、市公式ウェブサイト等で周知することは可能。
委員	・外国人の居住者に対する、ごみ関係の多言語表記への対応について。
市	・ごみカレンダーの分別方法の説明部分について、英語バージョンを作成し、希望者に配布している。その他の言語については検討中。

<p>その他</p> <p>委員</p> <p>市</p>	<p>報告 1 益田市一般廃棄物処理基本計画の改定について</p> <p>報告 2 益田市一般廃棄物最終処分場について</p> <p>○質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蛍光灯の廃棄方法について、LED化が進み、蛍光灯が製造中止となり、どんどん廃棄されていると思われるが、埋立量の増加について何か対策は考えているのか。</li> <li>・蛍光灯については、埋立ごみとして回収後、リサイクルプラザで分別し、民間業者で処分しており、下波田埋立処理場には埋め立っていない。</li> <li>・蛍光灯について、ガラス等含まれているが、再資源化の状況は。</li> <li>・民間事業者へ委託し処分しており、再資源化を実施。</li> <li>・次期最終処分場は下波田のどこを予定しているか。</li> <li>・現下波田埋立処理場の隣接地を予定。</li> <li>・予定している被覆型施設の大きさについて。</li> <li>・1工区 22000 m<sup>3</sup>を予定、大きな体育館のような施設で、詳細は今後設計。</li> <li>・最初から2工区分建設するのか。</li> <li>・当初は1工区建設し、1工区が満杯になる段階で2工区目となる予定。</li> <li>・建物の耐用年数によるが、床から漏れ出すことへのモニタリング等対応策は。</li> <li>・対応策については検討。地下水検査について実施。</li> <li>・現埋立処分場が満杯になるという現状を見て、さまざまな施策を講じてごみの減量化等進められているが、喫緊の課題として、市民・事業所・学校など危機感を共有することが大事だと感じた。具体的な削減方法であったり、市民に対して分かりやすく伝えてもらい、次期処分場が完成するまでの間を特に重点を置くことが必要ではないか。</li> <li>・委員意見も踏まえ、今後情報の共有をおこない、分別徹底等より一層のご協力をいただけるよう進めていきたい。</li> </ul> <p style="text-align: center;">— 議事終了 —</p>
---	--